

竹島問題に対する今後の取り組みについて

ー領土・主権対策企画調整室の発足を視野に入れてー

1. 領土・主権対策企画調整室の発足と「北方領土の日」の現在

- (1) 第 33 回を迎えた「北方領土の日」式典、署名 8740 万人
- (2) 韓国の対応、歴史問題として認識。(活動の源泉、研究機関の存在)
- (3) 2005 年 3 月「東北アジアの平和のための正しい歴史定立企画団」立法化
- (4) 2006 年 9 月「東北アジア歴史財団」と改組

2. 島根県と日本政府の違い

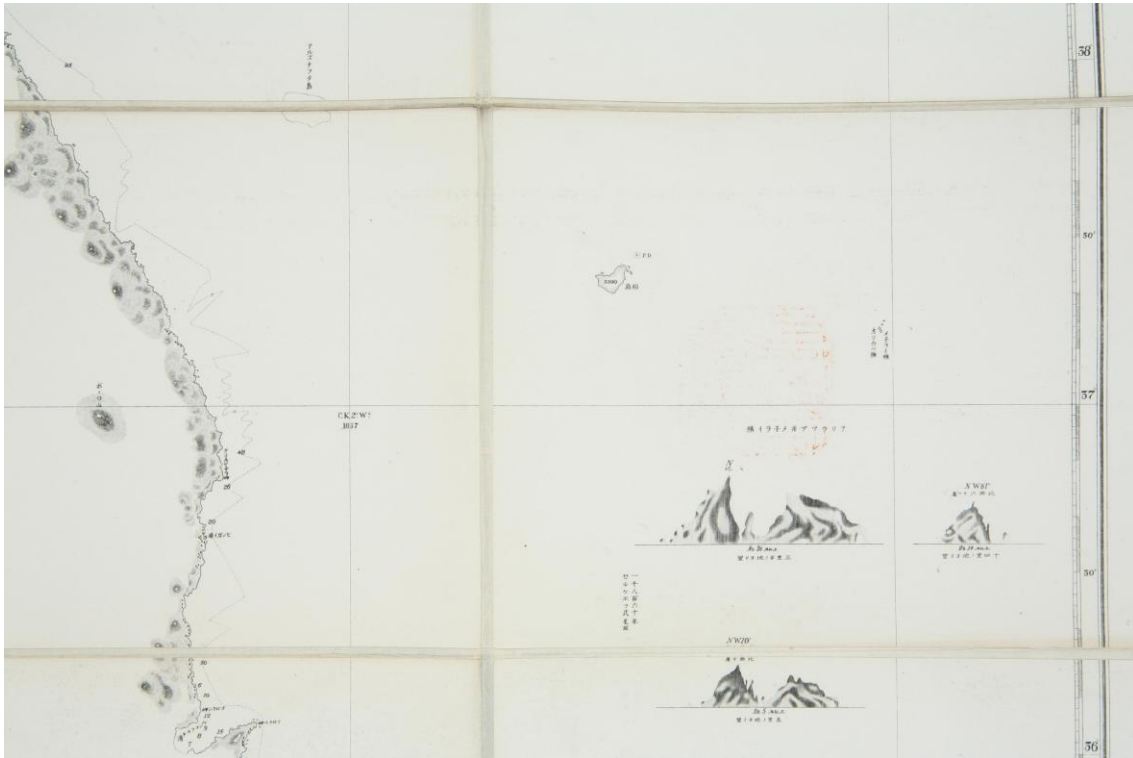
- (1) 島根県竹島問題研究会、2005 年 6 月発足。2007 年 6 月、第一期「最終報告書」
- (2) 2008 年 2 月、外務省「竹島問題を理解するための 10 のポイント」刊行
- (3) 韓国の「東北アジア歴史財団」等、2008 年 4 月、10 のポイントに対する反論
- (4) 2011 年 4 月、「東北アジア歴史財団」→「日本が知らない 10 の独島の真実」
- (5) 2011 年 6 月、「韓国が知らない 10 の独島の虚偽」反論。Web 竹島問題研究所
- (6) 2013 年 2 月 21 日、嶺南大学校「第二期竹島問題研究所報告書批判」セミナー
- (7) 2013 年 2 月 21 日、「日本人が知らない独島の 10 の真実」公開、韓国

[http://www.nahf.or.kr/Data/board\\_100/dokdo\\_Truth/Japanese.pdf](http://www.nahf.or.kr/Data/board_100/dokdo_Truth/Japanese.pdf)

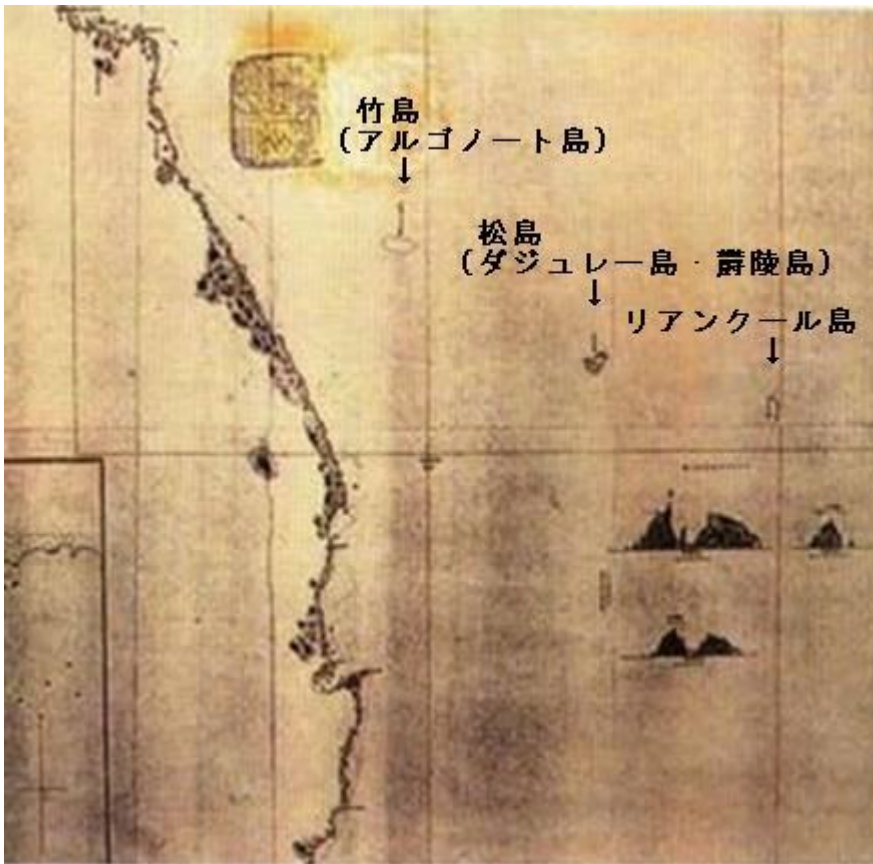


① 長久保赤水「日本輿地路程全図」

② 齋藤豊仙『隠州視聴合記』からの引用



③海軍省「朝鮮東海岸図」(1876年)



④海軍省「朝鮮東海岸図」(1876年)



⑤陸軍参謀局「朝鮮全圖」(1875年)



⑥陸軍参謀局「朝鮮全圖」部分(1875年)